

MFJ 北海道エンデューロ選手権第3戦ヒーローレーシング大会 観戦レポート

(2019. 7. 21 BIGBEAR)



ルスツのBIGBEARで開催された“北海道エンデューロ選手権第3戦ヒーローレーシング大会”に行ってきました。レースの写真撮影の許可を得るために、事前に主催者のところに寄ったところ“レースの準備はまだやることはいくらでもある”と話されていたので、今回はコース作りの手伝いを兼ねて、レース前日の朝から出かけることにしました。

朝9時にBIGBEARに着いてまずコースの確認をするために1周回ってみました。コースは、ピット上のいつもの場所からスタートして、ひたすら頂上近くまで登る設定になっていました。頂上近くは結構斜度があり、雨が降ると相当キツそうな感じになっています。上までいくと今度は下りです。ひたすら走ってピット横を経由しながらゲート近くまで下ります。コースの途中には草に隠れた轍や穴ポコがあり、いい気になって走っていたら前転して放り出されるので要注意でした。この点を除けば難所的なところが皆無なので、天気さえ良ければとても走りやすそうな印象を受けました。なお、一番低いところにある土手上りがあるウッズは、公認クラスのみが使う設定になっていました。



1周回って、ミスコースしやすいと感じた場所にはオンコースマークを、ショートカットできそうな場所にはコーステープを張り、そのあとはピット周りの杭打ちや本部テントの設営作業を行い、一通りの作業が終わったのが16時過ぎでした。

作業が一段落したので夕食の食材が届くまで軽く一杯やっていたら、かわいい野ウサギがひょっこり出てきて、とても癒やされました。

さて、時間のたつのは早いもので、レース当日の日曜日の朝になりました。空は雲に覆われてどんよりとしており、気温も少々肌寒い感じがしましたが、雨が降るような気配はなさそうでした。コース路面も程よく湿っており、今回は夕張のような土ボコリを気にしなくてすみそう。まさにベストコンディションな感じでした。

事務局の発表では、今回のレースの出場総数は前回の第2戦よりも若干少ない67台。IAクラスが1台、IBクラスが13台、NAクラスが6台、NBクラスが28台、Bクラスが5台、Cクラスが10台、市販車クラスが2台、市販車EXPクラスが2台となっていました。市販車クラスは4台なので完走さえすれば賞品の“お米”をゲットできるみたいです。うらやましい(^_^)

●受付と車検

いつものように朝8時から、受付と車検、開会式、ブリーフィングが行われました。





●レーススタート

一通りのセレモニーが終わり、スケジュールどおり 9 時に承認クラスの B・C・市販車・市販車 EXP クラスの 90 分レースがスタート。その後 11 時から IA・IB・NA・NB クラスによる 150 分レースがスタートしました。



● IBクラス



(154 佐藤選手)

注目の IB クラスは前回に引き続き 154 佐藤選手が優勝しました。自分は公認クラスのスタートが終わってからすぐにカメラをもって山の中腹で待ち構えていたのですが、最初にやってきたのは、アグレッシブな走りの 110 前田選手でした。続いて 2 番手が 154 佐藤選手、3 番手が 144 竹内選手、162 大友選手、121 木口選手、115 小谷選手の順でした。2 番手以降に結構な差がついていたので、今回はこのまま前田選手が走りきるのではないかと、という感じが一瞬頭をよぎりましたが、6 周目に入ると先頭は前田選手から佐藤選手に入れ替わっていました。



(110 前田選手)



(121 木口選手)



(125 宮崎選手)

佐藤選手はその後も快調に飛ばしてそのままゴールインし、IBクラスの中では唯一17周を回って今期2勝目を挙げました。2位は前田選手、3位は125宮崎選手、4位は162大友選手、5位は121木口選手、6位は115小谷選手でした。

気になるポイントランキングですが、現時点でのトップは72Pで154佐藤選手、2番手は58Pで110前田選手、3番手は52Pで木口選手、4番手は50Pで宮崎選手です。今回のレースで現在1番手の佐藤選手と2番手の前田選手とのポイント差は11Pから14Pに広がりました。また活躍が注目されていた今年IBに昇格したばかりの143奥谷選手は10位、竹内選手は残念ながら3周目で他者と接触し、マシンが走行不能となったためにリタイヤを余儀なくされたようです。

●NAクラス



(329 中江選手)

NAクラスは3連覇を目指した高校生ライダーの330伊藤選手と過去2回とも僅差で負けていた329中江選手との因縁対決になりました。スタートしてから1周目は、全選手の中で伊藤選手が9番手を走り、中江選手が12番手で追う形だったのですが、4周目には逆転して伊藤選手が中江選手を追う形に。そして5周目にはこの形がさらに逆転し、6周目にはまたまた中江選手が伊藤選手の前に出ました。最終的にはこの2人とIBの佐藤選手、前田選手が加わって、4人がトップ集団的な感じで走っていました。抜きつ・抜かれつバトルレース、レース終盤になって、それぞれの選手がいつ・どこで・どう勝負を仕掛けるのか、写真を撮りながらハラハラ・ドキドキしていました。



最終的には中江選手が伊藤選手に2分弱の差をつけてそのままゴールインしました。3位は前回、最終週のピット前で、痛恨のガス欠を起こして入賞を逃した304 小山選手で、今年3戦目にしてようやく入賞をゲットしました。全選手の中で17周を回ったのは、NAクラスの中江選手、伊藤選手、IBクラスの佐藤選手の3人だけでした。



(304 小山選手)

NAクラスのポイントランキングですが、1番手は伊藤選手で72P、2番手は中江選手で69P、3番手は小山選手で54P、4番手が小林選手で51P、5番手が佐藤選手で49P、6番手が清水選手で46Pです。3番手と5番手のポイント差は3~5PなのでIB昇格枠の争いはまだまだ予断を許さない状況ですね。

●NBクラス

このクラスはIA・IB・NAクラスへの登竜門。MFJの主催する公認レースに出るためには、誰しもまずこのクラスから始めなければなりません。公認クラスの入口ということもあって、参加するライダーの中には、過去にモトクロスで活躍したりターライダーや、オフロードを始めたばかりの選手など、お金とその気があれば誰でも参加できる玉石混淆クラスになっています。前回、前々回の飯田選手のように、突如出てきてIAやIBよりも良い成績を出して総合優勝してしまうといったことが普通にあるクラスです。また全クラスの中でも一番参加台数が多いのがこのクラスです。

今回は飯田選手が欠場したので、どんなレースが展開されるのか楽しみにしていましたが、結果は順当に前回の夕張大会で準優勝していた445北谷選手が初優勝を飾りました。



(445 北谷選手)

北谷選手は昨年3レースだけしか出ておらず、NBクラスのポイントランキングでは15位の成績でしたが、今年はかなり走り込んでいるのか、かなり気合いが入って調子も良さそうです。スタートしてから一周目は447松山選手が16番手、445北谷選手は19番手、474山下選手は27番手で回っていましたが、最終的には北谷選手が松山選手を抜いて優勝しました。



(447 松山選手)

ポイントランキングでは1番手の447松山選手が59P、2番手の北谷選手は55P、3番手の山下選手が51P、4番手の飯田選手が50P、5番手の477田崎選手が47P、6番手の460渋谷選手が44Pとなりました。今回欠場されていた7番手の424鈴木選手は、過去2回とも3位の成績を残しているため、今後の参加状況次第では、まだまだランキングの入れ替わりがありそうです。

このクラスの話をもう一つあげておきます。今回はNBクラスに2人の女性が参加しており、471高見選手が10位に入っています。

総合でも公認クラス 47 台の中で 24 位と、まずまずの成績を出しています。これまでの第 1 戦や第 2 戦では良い結果が出ていなかったのですが、今回は本人もかなり喜んでいるようです。一方の JEC の全日本レディースでの優勝経験を持つ 454 福田選手は 12 位でした。この 2 人はそれぞれ骨折という負傷を抱えながらの健闘でした。



●B クラス



(601 石川選手)



(602 高倉選手)

B クラスは、ヒーローレーシング大会でこのクラスの常連となっている 601 石川選手が、前回に続き優勝しました。石川選手は、2 位の 602 高倉選手よりも 1 周多く回っており、承認クラスの中でも市販車 EXP クラスで優勝した石原選手に次いで、総合 2 位の成績でした。3 位は 607 大石選手、4 位は 604 前野選手、5 位は 613 花井選手でした。

●C クラス



(672 竹内選手)



(653 山本選手)



(669 矢野選手)

Cクラスは672竹内選手が前回に続き2連勝しました。タイム的には承認クラスの総合で4位、Bクラスでも2位に入賞できる成績を出しています。2位は653山本選手、3位は669矢野選手、4位は675真鍋選手、5位は654青田選手、6位は657村井選手でした。



(657 村井選手)

(660 佐藤選手)

(676 百武選手)

前回3位に入賞した660佐藤選手は、スタート直後の転倒が尾を引いたのか8位に終わりました。このクラスは657村井選手、660佐藤選手、676百武選手と3名の女性が参加しており、今後の女性陣の活躍が楽しみなクラスです。

ポイントランキングでは653山本選手が一番手でダントツの59P。2番手は669矢野選手が青田選手を抜き57P。3番手は654青田選手で54Pとなっています。

●市販車 EXP クラス



(701 石原選手)

(700 菅原選手)

(二人のバトル)

市販車 EXP クラスは久々の2台の参加。手首に負傷を抱える常連の700菅原選手と、701石原選手のガチンコ勝負となりました。レースは、1周目から前を走る菅原選手に石原選手が離れずにピッタリと追いかける形で展開されていましたが、最終的には2分弱の差で701石原選手が今季初優勝を飾りました。

●市販車クラス



(702 竹村選手)

(706 高橋選手)

市販車クラスは2台の参加で702竹村選手が優勝し、このクラス常連となっている706高橋選手は2位でした。

●表彰式の模様（紙面スペースの関係で掲載は順不同です。）

・IA クラス



(22 柴田選手)

・Bクラス



601 石川選手（代） 602 高倉選手 607 大石選手

・市販車 EXP クラス



(25 石原選手) (700 菅原選手)

・市販車クラス



(706 高橋選手) (702 竹村選手)

・IB クラス



写真右から1位～6位

- 154 佐藤選手
- 110 前田選手
- 125 宮崎選手
- 162 大友選手
- 121 木口選手
- 115 小谷選手

・NB クラス



写真右から 1 位～10 位

- 445 北谷選手
- 447 松山選手
- 474 山下選手
- 477 田崎選手
- 460 渋谷選手
- 490 小熊選手
- 451 齊藤選手
- 479 大石選手
- 441 吉田選手
- 471 高見選手

・NA クラス



写真右から 1 位～6 位

- 329 中江選手
- 330 伊藤選手
- 304 小山選手
- 343 小林選手
- 318 清水選手
- 333 佐藤選手

・C クラス



写真右から 1 位～6 位

- 672 竹内選手
- 653 山本選手
- 669 矢野選手
- 675 真鍋選手
- 654 青田選手
- 657 村井選手

・特別賞（女性の活躍）



写真右から
471 高見選手
660 佐藤選手
454 福田選手
676 百武選手
657 村井選手

●最後にルスツの野菜詰合せセットを狙って全員でじゃんけん大会



●次回の予定

次回は9月1日(日)に夕張のマウントレースイで「北海道エンデューロ選手権 第4戦ヒーローレーシング大会」が開催されることになっています。皆さん、次回も夕張会場でお会いしましょう(^)

BY 2か

●2かのフォトギャラリー

<https://photos.app.goo.gl/6dzLN5YAg31ecn8c7>

●リザルト

<https://speedhive.mylaps.com/Events/1697238?fbclid=IwAROKCI7XJmz1WrJcENPC6YPvV82TuCaBFsDxMzZTz9EHc5g63MUOSou0cFg>

●MFJ 北海道 ED ポイントランキング

https://www.jmpsa.or.jp/prg_img2/pdf/pdf2019072208070234070400.pdf?fbclid=IwAR0HVQx9reHH4SbVRu5L6hQgAindwI5I05nkHhNdyucRjxPUuBxTGHvKqwg

